

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境			0.40					3.8
1 音環境		2.0	0.15	3.5	1.00			3.2
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音		1.0	0.50	4.0	0.50			
1 1 開口部遮音性能		1.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	空間音圧レベル差等級Dr-55	-	-	5.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	遮音等級Lr-45	-	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	遮音等級Lr-50	-	-	4.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
2 温熱環境		2.0	0.35	5.0	1.00			4.5
2.1 室温制御		3.0	0.50	5.0	1.00			
1 1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	熱損失係数2.26W/(m ² ・K), 夏期日射取得係数0.053	3.0	0.38	5.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.5	0.25	3.7	1.00			3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30	3.5	0.50			
1 1 昼光率	有効な開口の確保に依り, 昼光利用を図る。	5.0	0.60	4.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50			
1 1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	庇, カーテンにより制御	2.0	1.00	4.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-			
4 空気環境		3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 1 化学汚染物質	JIS/JAS規格のF 建材を使用する。	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.9
1 機能性		2.8	0.40	3.2	1.00			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	4.0	0.60			
1 1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応	100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能	-	-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている。	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40			
1 1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31	-	-			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
1 1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3相当とした。	5.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4	信頼性		2.6	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	1.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性		3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
	3.1	空間のゆとり	-	-	2.6	0.50	
		1	階高のゆとり	-	-	3.0	0.60
		2	空間の形状・自由さ	-	-	2.0	0.40
	3.2	荷重のゆとり	-	-	3.0	0.50	
	3.3	設備の更新性	3.0	1.00	-	-	
		1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-
		2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-
		3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-
		4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-
		5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-
		6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.8
	1	生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0
	2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0
	3	地域性・アメニティへの配慮	3.5	0.30	-	-	3.5
		3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-
		3.2	敷地内温熱環境の向上	敷地内緑地の確保に依り、暑熱環境の緩和を図る。	4.0	0.50	-
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.6
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.6
	1	建物の熱負荷抑制	省エネルギー対策等級4相当とした。	5.0	0.40	-	5.0
	2	自然エネルギー利用		3.0	0.20	-	3.0
		2.1	自然エネルギーの直接利用	3.0	0.50	-	-
		2.2	自然エネルギーの変換利用	3.0	0.50	-	-
	3	設備システムの高効率化	高効率の設備システムを採用した。	5.0	0.40	-	5.0
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	#VALUE!	5.0	-	-	-
		集合住宅の評価		5.0	-	-	-
	4	効率的運用		-	-	-	-
		4.1	モニタリング	-	-	-	-
		4.2	運用管理体制	-	-	-	-
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.8
	1	水資源保護		3.4	0.15	-	3.4
		1.1	節水	節水型便器を採用した。	4.0	0.40	-
		1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-
			1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-
			2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-
	2	非再生性資源の使用量削減		2.7	0.63	-	2.7
		2.1	材料使用量の削減	2.0	0.07	-	-
		2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.24	-	-
		2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-
		2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20	-	-
		2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.05	-	-
		2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	4.0	0.24	-	-
				外壁廻りの仕上げを躯体と容易に分別可能とした。			
	3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.22	-	3.0
		3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.32	-	-
		3.2	フロン・ハロンの回避	3.0	0.68	-	-
			1	消火剤	-	-	-
			2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-
			3	冷媒	3.0	0.50	-
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1
	1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出量を一般的な建物概算値同等未満とした。	4.1	0.33	-	4.1
	2	地域環境への配慮		2.8	0.33	-	2.8
		2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-
		2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.50	-	-
		2.3	地域インフラへの負荷抑制	2.5	0.25	-	-
			1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-
			2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-
			3	交通負荷抑制	2.0	0.25	-
			4	廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25	-
	3	周辺環境への配慮		2.5	0.33	-	2.5
		3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-
			1	騒音	3.0	1.00	-
			2	振動	-	-	-
			3	悪臭	-	-	-
		3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制	1.6	0.40	-	-
			1	風害の抑制	1.0	0.70	-
			2	砂塵の抑制	1.0	-	-
			3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-
		3.3	光害の抑制	3.7	0.20	-	-
			1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70	-
			2	曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-
				広告物照明等なし。			